



▲連合音楽会会場でも避難訓練（初期行動）

穏やかな日差しの下、木々の紅葉がまちを赤や黄色に美しく彩っています。待ちに待った「日本の秋」の到来です。文化、スポーツ、美術鑑賞など楽しみ満載の秋ですが、秋の味覚も思う存分味わいたいですね。過ごしやすいい季節になりました。

◆11月5日播磨町小・中・高等学校「連合音楽会」が開催されました。播磨南高校生のピアノ演奏で始まり、各小学校6年生の合唱、合奏と続き、播磨、播磨南、両中学校の吹奏楽部による合唱や合同演奏が行われました。全国的に少子化の時代ではありますが、播磨南小が57人、播磨西小が56人、播磨小が88人、蓮池小に至っては130人という多くの6年生が一堂に勢ぞろいした場面を目の当たりにすると、播磨町の学校は、まだまだ「元気」という印象を強く持ちました。その演奏はとて小学生とは思えないほど、レベルも高く迫力あるものでした。小学生がこんなにも素晴らしい演奏ができるのだということに感動しながら聴いておりました。この陰には、指導された先生方の並々ならぬご尽力があったことと思います。改めて敬意を表します。いい時間を共有させていただき、ありがとうございました。

◆同じく5日には、午前10時より、「兵庫県南海トラフ地震津波一斉避難訓練」が行われました。緊急速報メール(エリアメール)が配信された時間には、ちょうど蓮池小学校で「連合音楽会」が開催されている最中でしたが、子どもたちは、一斉に自分が座っている椅子の下に潜り込み、身の安全を図りました。どのようなところにも、どのような場面でも、即座に避難行動がとれるよう普段から心掛けていただくことが大切だと思います。自分の「命」は自分で守るということを忘れないでくださいね。

播磨町長 清水ひろ子

## 古代のまつりを再現し、大中遺跡まつり大盛況

大中遺跡まつり実行委員会 ☎079(435)5000

第28回大中遺跡まつりが晴天の秋晴れの中、大中遺跡公園で盛大に開催されました。土山駅で銅鑼を鳴らして始まる「使者の行列」、大中遺跡公園内を練り歩く「古代行列」。まつりを終日見守る松明に火をともしための「火起こしの儀」はほかのイベントでは真似ができない古代をテーマにした大中遺跡まつりならではの雰囲気ある演出で、多くのファンを集めています。



古代村市場と題した模擬店では、海の幸、山の幸、里の幸、創意工夫された食の数々、人気のグルメが並び、古代体験ブースではものづくりや古代の生活の工夫を学ぶワークショップが開催されました。

**楽屋裏**  
 大中遺跡まつりは、本当に多くの人のお力添えをいただいています。私は毎年、いろいろな写真や撮らせていただいています。儀式や古代村市場や体験ゾーン、ステージを盛り上げてくださった皆さまや、私の声掛けに笑顔で答えてくれた皆さまを、ここに載せられないことが残念ですが、たがえないです。それでも私の脳裏には、会場でお出会った人たちの笑顔と声が焼き付いています。小さな子どもたちや小学生だけじゃなく、中学生も高校生も大学生も、それを支えるおとなたちも高齢世代も、「晴れの日」の笑顔で、会場全体が晴れわたっていいました。やっぱり播磨町っていいまちだなと思います。(宮)

## 平成30年度まちづくり講演会を開催しました

都市計画グループ ☎079(435)2366

今回は、町内在住の佐伯亮太さん(合同会社 Roof 共同代表 コミュニティファシリテーター)に「人口減少時代のまちづくり」をテーマに、町内にある空き家活用について、活動事例を交えたお話をいただきました。会場には自治会長や建築士、福祉に携わる人の参加もあり、講演後のアンケートからは「民間で活躍されている方とのつながりがキーポイントと指摘されている中で、こうしたつながりを促進することは非常に意識が大きいと感じました」と、感想をいただき、播磨町のまちづくりをすすめる有意義な講演会となりました。



▲利用が難しい空き家が増えている

## 不当要求対策のための職員研修会を実施

危機管理グループ ☎079(435)0991

近年のインターネットやSNSなどの普及に伴い、行政に対する不当な要求や窓口におけるトラブルの原因、手段は多様かつ複雑になってきています。町では、そのような状況の中でも公平かつ公正な行政を維持できるよう、庁舎の職員を対象とした研修会を実施しました。加古川警察署より講師をお招きし、不当要求行為の未然防止のための知識や、不当要求行為が発生した場合の対応について教えていただきました。



▲暴力を伴う要求に備えて

# トピックス

まちのわだい

## 津波ひなんウォーキング 古宮から45分

危機管理グループ ☎079(435)0991

絶好のウォーキング日和となった11月3日、はりま津波ひなんウォーキングが実施されました。

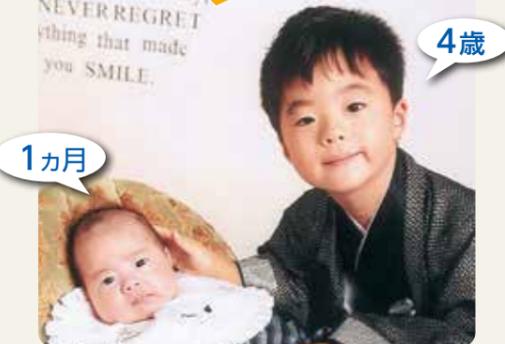
このウォーキングは、参加する人が任意の時間に地震が起こったと想定して、身を守る初期行動をしたあと、津波から逃れるための避難をするという避難訓練です。

参加者は、避難を開始してから津波避難目標地点である大中遺跡公園まで、安全な道を選んで実際に歩いてみて、何分かかるのかを確認しました。チェックポイントに届け出があった参加者は157人。古宮から参加した人の所要時間は45分、二子から35分、本荘から35分などが報告されていました。



▲アンケートに記入する参加者

## わんぱくはりまっこ



喜田 虎仁くん・獅堂くん (北本荘)  
 兄弟仲よく大きくなってね (トト・カカより)

※撮影時の年齢です。